

～下記の研究を行います～

【課題名 強皮症関連間質性肺炎に対するミコフェノール酸モフェチルの使用経験】

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】強皮症関連間質性肺炎 (SSc-ILD) に対するミコフェノール酸モフェチル(MMF)の使用経験

【研究責任者】北川 晃子

【研究の目的】MMF は 2024 年 2 月より強皮症関連間質性肺炎に保険適応となったが、実臨床における MMF 導入後の効果と安全性を評価する

【研究の期間】研究許可日～2026 年 4 月 30 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2022 年 11 月～2025 年 1 月に当センターにて SSc-ILD と診断され MMF を開始した方

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報：年齢、性別 等

②疾患情報：CT 等

【研究の資金源】無

【利益相反】

臨床研究における利益相反 (COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研

究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構姫路医療センター リウマチ科
〒670-8520 姫路市本町 68
TEL (079) 225-3211 (代)
研究責任者 リウマチ科 医師 北川晃子